

上原集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成25年07月30日

修正日：平成25年08月19日

市町村名	鳥取市	組織名	上原水稲生産組合
1 地区の範囲 鳥取市上原			
2 地区の概要			
水田面積	33.7 ha		
主な水田栽培作物	水稲		
農家数	46 戸		
認定農業者数	1 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	経営体		
人・農地プランの中心となる経営体数	1 経営体		
3 組織化の目標(設立時期の目標は、事業実施年度内とする。)			
・設立時期(規約等の制定日)【昭和53年 3月25日】			
	組織形態(該当形態に○)		加入農家数
【現状】前年度実績 (24年度)	・未組織 <input type="radio"/> 共同利用型 <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> 作業受託型 <input type="radio"/> 協業経営型		26 戸
【目標】事業開始翌年度 (26年度)	<input checked="" type="radio"/> 共同利用型 <input checked="" type="radio"/> 作業受託型 ・協業経営型		26 戸
注1)集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。			
4 集積率(機械の共同利用と作業受託)の目標			
項目	【現 状】	【目 標】	
集積面積 A	12.4 ha	15.6 ha	
対象水田面積 B	27.0 ha	26.8 ha	
集 積 率 A/B	46.0 %	58.4 %	
注1)集積率の目標は、50%超が採択要件。			
注2)集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。			
注3)集積面積の詳細は、別表「集積目標(実績)一覧」により作成。			
注4)目標は、事業実施最終年度とする。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>集落の農業の現状は、集落全体の33.7haの内、認定農業者1名が6.8haと集落営農組織が12.4haの集積を行っている。</p> <p>水稻を中心とした集落内の将来の農業構造については、現在の認定農業者の大幅な規模拡大や新たな個人経営の認定農業者となる者が現れることは望めないと考えられるほか、農業従事者の減少等から不耕作地・耕作放棄地の増加も懸念される。</p> <p>さらに、現在の集落営農組織体制では、これ以上の農作業等の受託も難しい状況である。</p> <p>このことから、将来の集落営農組織の発展を考え、受託作業を行っていない田植作業に関して、組合員4～5名が共同購入を行い機械の調達を行っている現状から一歩進め、将来的には、組合で田植機を保有又は借り受けし、基幹4作業の農作業受託が可能な農業機械の整備、オペレーターの育成による人的体制の整備を検討する。</p>
2 水田作付け計画、生産調整の方針・具体策	<p>集落の水田全体で特別栽培米による安全安心な水稻作を行うことで、組合員の信頼向上や、将来的には集落全体での協議により水系ごとに作付品種を早生種の「コンヒカリ」、「ひとめぼれ」及び中手品種の「きぬむすめ」への作付により、適期作業による作業の集中を防ぎ、刈り遅れなどによる等級低下防止、作業の効率化による経営の向上に努める。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>本組織の作業受託は、水稻の刈り取り作業を中心とし、そのほか耕起、自家消費用の米の乾燥調製を行っている。</p> <p>今後は、組織の作業受託の中心である刈り取りの作業効率の向上による刈り取り面積の拡大など、作業体制を整備・強化するため平成25年秋に高性能となるコンバインの導入する。</p> <p>なお、乾燥調製については前記のとおりであり、刈り取り後の処理は、これまでどおり農協施設を主に活用する方向である。</p> <p>併せて、組織で保有する機械の農機具庫等も今後整備し、組織活動の強化を図る。</p> <p>さらに、組合員については、組織が受託する作業に関する農業機械は、原則個人による機械更新を行わないことを申し合わせ、高性能農業機械の共有、効率利用に努める。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>当集落では、耕作者の高齢化と若者の農業離れが進行しており、営農活動の継続について不安を感じている。そこで、高性能機械を導入し作業の効率化による時間的負担の軽減や、50歳～60歳台の若い後継者に大型特殊免許を取得させるなどオペレーターとして参加しやすい環境を整え組織の若返りを図る。</p>
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューの実施組織は必ず記入】	

II 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	4条刈り	1	6,740,000円	平成25年8月	○
保管庫兼作業場	96㎡	1	5,400,000円 内対象経費 (2,700,000円)	平成25年9月 ～ 平成26年8月	○
免許取得	大型特殊	3名	360,000円	平成25年9月 ～ 平成26年8月	(事業活用)